

これでこそロータリー

十日町北 波形 才知郎

ちょっと旧聞であるが、山の中に老人、婦人会、また町内会の集いにと計画した山の鉱泉旅館に、お湯だけでは物たりない、雪国でも適応する何か良い植物はないかと思ひ、いろいろ考えた末、花菖蒲に決めた。そしてその苗を探していたところ、ある新聞に山形の産物と観光というPRが出ていた中に「日本一あやめの故郷長井市」を見て、これだ、と早速、長井の観光協会に問い合わせをしようと思つたが、長井市にもロータリークラブがありはしないか、と会員名簿で探し出し、この際はロータリーの友情にすがらうと思ひ、誰に手紙を出そうかと迷つた。結局、同業の方

に、と定めて丸万旅館の横沢朝吉氏に手紙を送つた。早速返事が来て、それも誠に親切丁寧な御手紙で同クラブにあやめ同好会会長もいるから紹介しますとのこと、恐縮しながら花の盛りの七月七日に訪問しました。

一面識もない私に、それは大変な歓待をいただき、ご多忙中を半日おつき合い願ひ、再会を約して帰りました。もちろん当日は例会に合せて行つたのでメイクアップし、紹介していただいた方は飯沢半右衛門氏、氏は観光協会副会長、長井市市会議員の方で、いろいろお話をうかがいました。根分けは七月下旬から八月上旬とのことで八月四日朝四時に車で出発、約二三〇キロの道程を再度長井市に行き、またも横沢氏宅に行き、一緒に道案内をしていただくことになりました。

また飯沢氏は味噌、醤油蔵の社長で、ロータリーの仲間ということから、真夏の暑い中を自分でスコップを持って、愛育された花菖蒲の根分けをして下さつた。中食も御馳走になり、午後もまた畑に出られて、私はほんとうに申訳ない心で一ぱいでした。と同時に、もし私にも他のロータリアンから何か相談されたら、心から親身になってお世話しなければならぬ、これでこそロータリーだ、全ロータリアンがこうでなければならぬ、とつくづく痛感いたしました。

(新潟県・旅館)